

平成30年度のZEH支援事業(補助金)について

平成30年度のZEH支援事業(環境省及び経済産業省担当分)の補助制度の概要が公開されました。ただし、実施は予算の成立が前提となります。又、合同説明会の概要を発表した。3月1日～3月14日まで全国6都市で開催する。

▼環境省ホームページ

<http://www.env.go.jp/earth/ondanka/zeh/h30.html>

▼ZEH等3省連携事業合同説明会専用ホームページ

<https://krs.bz/koushuu-setsumeikai/m/zeh3shourenkei>

ZEH(ゼロ・エネルギー住宅)等の推進に向けた取組(平成30年度予算案)

関係省庁(経済産業省・国土交通省・環境省)が連携して、住宅の省エネ・省CO2化に取り組み、2020年までにハウスメーカー等が新築する注文戸建住宅の半数以上をZEHにし、2030年までに建売戸建や集合住宅を含む新築住宅の平均でZEHを実現することを目指す。



情報提供: 環境省・経産省

高さ350m、地上70階の木造ビルを構想



住友林業が高さ350m、地上70階建ての木造高層建築物の構想「W350」計画を発表した。創業350周年を迎える2041年を目標に計画した。現在、日本で最も高いビルは大阪市のあべのハルカスで高さ300m。「W350」はこれを上回る超高層建築物だ。

建築地として東京都千代田区丸の内と想定。ここに建築面積6500㎡、延床面積45万5000㎡、地上70階の高層建築物を建てる計画を構想した。店舗やオフィス、ホテル、住居などで構成される。設計では日建設計の協力を得た。総工費は6000億円と試算した。構造は木鋼ハイブリッド構造となる。

建物内部は純木質の柱などを用いた純木造となる。木材には主に国産のカラマツ集成材を使用する。構造材の9割に木材を使用する計画。「シミュレーションによりM8クラスの地震でも安全性を確認した」(同)という。

情報提供: 創樹社

エアコン暖房「つけっぱなし」が得な場合も

ダイキン工業は2月16日、エアコン暖房の運転コストに関する検証実験の結果を発表した。京都市内のほぼ同じ条件のマンション2部屋で行った実験では、すべての時間帯で「24時間つけっぱなし」にした方が「30分間隔でこまめにオンオフ」するよりも消費電力量が小さく、電気代が安くなるという結果になった。これは、エアコンが運転を開始した直後に多くの電力を消費するためと考えられる。また、1日の生活スケジュールを想定して外出時に運転をオフにした場合は、「24時間つけっぱなし」にするよりも消費電力量が小さく、電気代が安くなった。しかし、13時間の停止時間があるにも関わらず、電気代の差は約30円程度にとどまることがわかった。これは、室温を設定温度まで上げるのに多くの電力を消費するため、オンオフの頻度が増えると結果が逆転する可能性もあるという。

■:消費電力量が小さい方(電気代換算が安い方)

時間帯	時間帯	「つけっぱなし」		30分間隔で「こまめに入り切り」	
		消費電力量 [kWh]	電気代換算 [円]	消費電力量 [kWh]	電気代換算 [円]
深夜～早朝	23:00～06:00	5.0	135	8.5	230
日中	06:00～18:00	7.8	211	11.2	302
夜間	18:00～23:00	3.3	89	4.2	113

※電気代換算値は電力料金単価を27円/kWhとして計算

情報提供: 新建ハウジング